



亀山 弘道 議員
かめやま ひろみち

教育長就任に当たっての所信を問う

問 教育長就任に当たっての所信を問う。

答 三原に残り三原の成長・発展を支える人材、他の地域で我が国の成長・発展を担う人材、世界全体の発展を牽引する人材を育成する。何より全ての三原の子供たちが、将来豊かで充実した人生を送ることができ、ための力をしっかりとつけることが使命だ。

問 知識ベースの学びから学習者基点の能動的で深い学びを取り入れたい。
問 貧困・人間関係・健康等で限度を超えたストレスにさらされている子供に対する手だてを問う。
答 全ての子に、抱えている課題に応じたきめ細かい指導をするよう学校を指導するとともに、人的支援も含めて支援する。

問 中学校3年生まで勉強嫌いにならないように

う整えるのか問う。
答 先生方の心身が健康であることは重要だ。業務改善を積極的に行い、余裕を持って本来の業務である子供たちと向き合えるよう取り組む。

早い段階での手だてを厚くしてはどうか。

問 児童・生徒が自ら疑問や課題を発見し、解決する場面を組み込んだ課題発見、解決学習などの実施に向けて今後も授業改善を進める。

問 教育委員の全員が男性で、5人のうち3人が教職経験者なので、教育委員会会議の運営に配慮があるのではないか。

答 委員の経験や識見を活かし、教育行政へ反映するよう会議の活性化を図る。

問 長時間勤務により教職員の心身の健康が損なわれ、教育条件としては非常に不十分な現状だ。子供たちの教育条件を整えられない教育委員会は失格だ。教育条件をど

車が入れない地域の消防・救急について

問 車の入れない地域での消防・救急対応を問う。

答 定期的に水利の状況や狭い道路などの確認をしている。固定電話・GPS機能のある携帯電話での通報なら、即座に通報場所を特定できるようにしているので、地域に合った指示が出勤隊への確に行える。また、日常的に現場に合わせた展開をするため、様々な訓練を実施している。



200メートル続く車の入れない急坂な小路

市道・農道などの管理について

問 センチピードグラスは、ムカデ芝とも言われ、生育が旺盛なため、畦畔管理を省力化するカパープランツとして全国各地で導入が進んでいる。

景観形成やコスト面からも、センチピードグラスを植栽して、市道・農道



福田地区のセンチピードグラス

道の草刈り作業の軽減を図ってはどうか。

答 農道の草刈り等の日常管理は、地域の関係者で行っている。近年過疎化や高齢化により、農家の負担が増加しており、生活環境の維持や自然環境の保全が懸念されている。

一方、市道の草刈りは業務委託や市民のボランティア活動で行っていた

だっている。その為、草刈り作業の軽減化を図る必要がある、センチピードグラスの植栽は有効な手段と考える。

市内の先進地において、植生が安定するまでの期間と、維持管理について現地調査や聞き取りを行い検討する。

によると、各種防災訓練を実施し住民意識の向上を図るとある。

自主防災組織連絡協議会、防災ネットワーク、地域防災リーダー等の協力を得て、全市一斉の防災訓練を実施してはどうか。

答 三原市地域防災計画では、必要な防災訓練は定期的に計画し最も効果のある時期や場所等を決定して実施するものとしており、市民の生命を守る観点からも防災訓練の必要性を感じている。

自主防災組織の活性化も含め、さらなる市民の防災意識の向上を目指し、各種防災関係団体と協議し、住民参加型の実践的な訓練を積極的に検討していく。

実施時期については、関係団体と十分協議を重ね適切な時期に実施したい。

その他の質問事項

- 農業振興について
- 主食用米の生産数量目標配分廃止後の影響と対策について

全市一斉の総合防災訓練について

問 三原市地域防災計画



陶 範昭 議員
すえ のりあき